

特別天然記念物コウノトリの現在の活動状況について

1. 今年（2019年）に入ってからコウノトリの動向

- 1月10日 J0118（げんきくん） J0051（ポン子）ともに、昨年と同じ電柱上の巣に枝を運ぶ様子が確認される。（大東町春殖）
- 1月15日 昭和セメント工業株式会社大東工場（大東町前原）前の市道（前原十日市線）沿いの電柱に、巣作りと見られる行動が確認される。
- 2月12日 雲南市立西小学校の人工巣塔で、巣作りと見られる行動が確認される。

2. 今後の予定について



※1 抱卵開始後から30～34日で孵化し、雛は最初の孵化から53～70日間巣に留まる。幼鳥は巣立ち後約1週間は巣の近くにとどまり、徐々に分散する
 （兵庫県立コウノトリの郷公園のHP参照）

※2 ふ化から43日目、個体識別用の足環を装着

3. その他

特別天然記念物コウノトリの観察に関するお願い

雲南市では特別天然記念物のコウノトリが複数確認されており、継続的な営巣を期待しているところです。

コウノトリを観察される際は、次の 3 点を参考にさせていただきますようお願いいたします。なお、これは、コウノトリの野生復帰に取り組む「兵庫県立コウノトリの郷公園」で作成された「コウノトリ飛来時の対応パンフレット」を抜粋したものです。より詳しくお知りになりたい方は、兵庫県立コウノトリの郷公園のホームページ等をご覧ください。

①静かに見守りましょう

コウノトリを驚かせないようにやさしく静かに見守りましょう。コウノトリの観察・撮影等は、コウノトリが遠ざかったり飛び立ったりしないように、150m以上(自動車の中からでは100m以上)離れて行いましょう

②地域に迷惑をかけないようにしましょう

コウノトリは集落周辺の水田、草地、河川、水路などで餌をとり、巣塔や大木等に巣を作ります。観察するときは、無断で私有地や農地に立ち入らないようにしましょう。また、農道や林道に駐車して通行の妨げにならないようにしましょう。

③繁殖期間は、巣に近づかないようにしましょう

2 月から 7 月は、コウノトリの繁殖期です。この時期に人が近づくと、巣作りや子育てに大きな影響を与えますので、コウノトリの巣には近づかないようにしましょう。巣の近くを通るときは、立ち止まらずに通り返るようにしましょう。